

平成 2 8 年度第 2 回
「人吉市地域公共交通活性化協議会」
(文書協議)

議 案 集

- 1 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

平成 2 9 年 1 月 1 7 日

議事 1

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価等について

- 1 「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項」及び「地域公共交通確保維持改善事業実施要領の6. 事業評価について」並びに「地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価実施細目」に基づき、現在、策定中である「人吉市地域公共交通網形成計画」に係る地域公共交通確保維持改善事業「調査事業」（各種調査・とりまとめ）について、別添のとおり事業評価を実施し、九州運輸局長へ提出するもの。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名:人吉市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存資料等の収集・整理 ・市民ニーズの把握 ・公共交通の利用実態把握 ・交通空白地での実証運行 ・人吉市地域公共交通網形成計画のとりまとめ ・協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、人吉・球磨地域で行った調査データ等を活用し、人吉市の地域の現状、交通関係の現状を整理した。 ・地区懇談会を開催し、地域ニーズを把握することができた。 ・バス利用者へのヒアリング調査を実施し、利用者の意向を把握することができた。 ・予約型乗合タクシーの区域運行を試験的に行い、結果の整理分析を行った。 ・今後、上記調査結果を元に協議会を開催し、関係者との協議、合意形成を経て、最終的に形成計画を策定する。 	<p>A 調査業務等は概ね適切に実施された。</p>	<p>人吉市内の交通に関する様々な課題に総合的に対応するため、地域公共交通のマスタープランとして計画する。昨年度策定した人吉・球磨地域公共交通網形成計画と整合性を取りつつ、人吉市内における交通拠点の機能強化や計画的なMMの実施等を推進するための計画とする。</p> <p>なお、網形成計画作成後には、より具体的内容を実施計画として作成し、他町村の実施計画と併せて人吉球磨の再編実施計画(幹線)に追加(変更)を行う予定である。</p>

人吉市地域公共交通活性化協議会

事業名：H28年度地域公共交通調査事業（計画策定事業）

調査事業の概要

1 調査事業を行うエリア

人吉市全域

2 調査事業の主な内容

平成27年度において策定した人吉・球磨地域公共交通網形成計画と整合性を取りつつ、支線部分である人吉市においても、交通施策のマスタープランとして「人吉市公共交通網形成計画」を作成する。その作成に伴う各種調査検討を以下のとおり行った。

(1) 既存資料等の収集・整理

昨年度、人吉・球磨地域で行った調査データ等を活用し、人吉市に特化したデータの整理を行った。

- ◆上位関連計画の整理
- ◆地域特性の整理
- ◆地域公共交通等の現状整理

(2) 市民ニーズの把握

- ◆地区別懇談会の開催

(3) 人吉市地域内公共交通の利用実態把握

- ◆路線バス（コミバス）利用者ヒアリング調査

(4) 公共交通空白地での実証運行

大畑地区、永野地区において、予約型乗合タクシーの区域運行を行い、結果の整理分析を行った。

(5) 人吉市地域公共交通網形成計画のとりまとめ（今後）

- ◆地域公共交通の課題整理（系統別カルテの作成、将来動向の分析、地域公共交通の問題点・課題の整理）
- ◆基本方針の検討（問題点・課題への対応方針を検討）
- ◆計画の目標設定
- ◆目標達成の施策の検討
- ◆計画の達成状況評価方法の検討

基礎データ

合併状況：昭和17年2月11日以降なし
人口：33,446人（平成28年12月在）
面積：210.48平方キロメートル
過疎地域等指定：特定農山村法
高齢化率：約34%
補助対象の系統数：対象系統無し
自治体負担額：対象系統無し
協議会開催数：協議会2回、検討委員会2回
（平成28年1月24日現在）



【区域】

調査前の地域交通状況（Before）

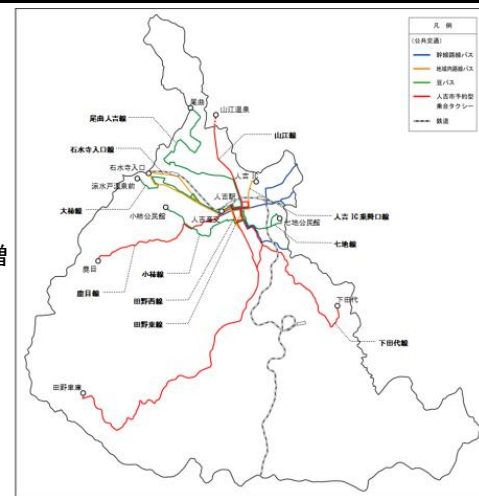
1 地域公共交通の状況

地域住民の移動手段は、車が主で、公共交通利用率が低い。

コミバスを含め路線バスについては、利用者の減少が続いていることや、予約型乗合タクシーについては、利用者は増加しているものの、乗合率が低いことにより、運行事業者への補助金額が増加傾向にある。

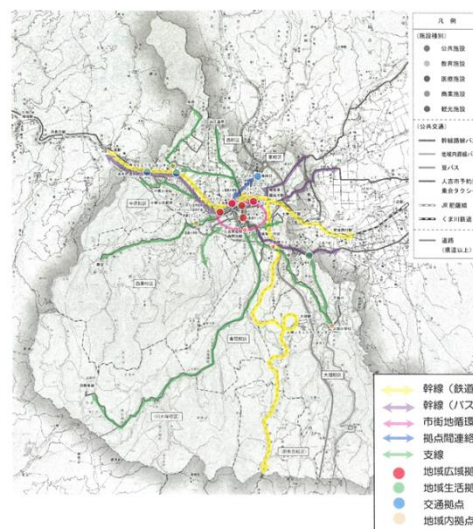
2 課題

- ◆市民及び地域住民、観光客等の移動目的と現在の地位公共交通体系の乖離
- ◆利用者の減少に伴う市財政負担の増加
- ◆地域公共交通に対する市民意識の低下
- ◆福祉・観光・都市計画やまちづくり等の各分野の施策との連携



調査後の地域交通計画素案（After）

- 方針①：人吉球磨地域及び市域での階層的な地域公共交通網の形成
- 方針②：多様な交通モードの連携による地域公共交通網の形成
- 方針③：地域特性を踏まえた、効率的・効果的な運行形態の構築
- 方針④：地域公共交通の利用促進・需要創発の促進
- 方針⑤：分かりやすい・利用しやすい地域公共交通システムの構築
- 方針⑥：地域（市民）との協働による地域公共交通づくり



【主な施策内容】

- ◆幹線系統と併せて支線系統の路線バスの再編
- ◆市街地循環路線の導入検討
- ◆拠点機能の向上
- ◆乗継を踏まえたダイヤの調整
- ◆高齢者運転免許証自主返納制度の推進
- ◆鉄道、路線バス、乗合タクシー等の一元的な交通マップ、地域公共交通利用ガイドの作成
- ◆MMの実施
- ◆地域イベントと連携した公共交通利用促進キャンペーンの実施
- ◆公共交通だよりの発行